

粗く、密に点刻される。雄の第8腹板は先端で幅広く、三角状に湾入する。脚は中位の長さで、腿節はやや太く、後脛節は細長い。附節の爪は単純。雄交尾器は幅広く、ペニスは基部1/3で幅広く、先端2/3で徐々に狭まる。側片は円筒状で、幅広く、ペニスよりわずかに短い。基片は大きく、非対称。5-8月に出現する。分布：本州・四国・九州・屋久島。

末筆ながら、本稿をまとめるにあたり、貴重な標本の協力をいただいた逗子市の露木繁雄氏、津市の秋田勝己氏、宇治市の水野弘造氏、大阪市の有本久之氏と西宮市の田中勇氏に厚く御礼申し上げます。

引用文献

- Bocák, L. & M. Bocáková, 1990. Revision of the supergeneric classification of the family Lycidae (Insecta: Coleoptera). *Polskie Pismo Entomologiczne*, 59: 623-676.
- Bocák, L. & M. Bocáková, 2008. Phylogeny and classification of the family Lycidae (Insecta: Coleoptera). *Annales Zoologici*, 58: 695-720.
- Bocák, L. & K. Matsuda, 2003. Review of immature stages of the family Lycidae (Insecta: Coleoptera). *Journal of Natural History*, 37: 1463-1507.
- Bocáková, M., 1992. Revision of the genus *Calochromus* Guérin-Ménéville (Coleoptera, Lycidae) from New Guinea and adjacent islands. *Acta Entomologica Bohemoslovaca*, 89: 301-308.
- Bocáková, M., & L. Bocák, 2007. Lycidae, In *Catalogue of Palaearctic Coleoptera*, Vol. 4, Elateroidea-Derodontoidea-Bostrichoidea-Lymexyloidea-Clerioidea-Cucujoidea, edited by I. Löbl & A. Smetana, Apollo Books, Stenstrup: 935 pp.
- Guérin-Ménéville, F. E., 1833. *Memoire sur deux nouveaux genres de l'ordre des coléoptères, et description des espèces qui les composent. Annales de la Société Entomologique de France*, 2: 155-160.
- Kazantsev, S. V., 2005. Morphology of Lycidae with some considerations on evolution of the Coleoptera. *Elytron*, 17: 73-248.
- Kleine, R., 1933. *Lycidae, Coleopterorum Catalogus*, edited by S. Schenkling, Pars 128, W. Junk, Berlin. 145 pp.
- Kleine, R., 1941. Bestimmungstabelle der Gattung *Calochromus* Guér. (Col.). *Stettiner Entomologische Zeitung*, 102: 206-241.
- Nakane, T., 1961. New or little-known Coleoptera from Japan and its adjacent regions, XV. *Fragmenta Coleopterologica*, 1: 1-5.
- Nakane, T., 1969a. *Lycidae (Insecta, Coleoptera)*, Fauna Japonica, Academic Press of Japan, Tokyo. 224 pp.
- Nakane, T., 1969b. New species of Lycidae from Formosa, with notes on some known species (Insecta: Coleoptera). *Bulletin of the National Science Museum, Tokyo*, 12: 9-16.
- Nakane, T. & K. Ohbayashi, 1955. Description of a new species of the genus *Calochromus* from Japan. *Akitu*, 4: 29-30.
- 佐藤正孝・松田 潔, 1985. ペニボタル科, 「原色日本甲虫図鑑 III」, 保育社: 92-107, 109.
- Waterhouse, C. O., 1877. Monograph of the genus *Calochromus* of the family Lycidae. *Cistula Entomologica*, 2: 195-202.
- Waterhouse, C. O., 1879. *Lycidae, Illustration of typical specimens of Coleoptera in the collection of the British Museum, Part I*, London. 83 pp.

(2014年8月20日受領, 2014年8月30日受理)

【短報】沖縄島で採集されたシロスジカミキリ

南西諸島におけるシロスジカミキリ *Batocera lineolata* Chevrolat の記録はこれまで奄美大島と徳之島からしかなかった(大林・新里, 2007)。今回、筆者らは(独)農業環境技術研究所(以下、農環研)・昆虫標本館の所蔵標本の中から沖縄島産の本種を見出したのでここに報告をする。データは下記の通りである。

1♂, Urasaki, Motobu-chô, Okinawa-hontô, 24. IV. 1986, S. Yoshimatsu leg. (農環研所蔵昆虫標本番号 24-0478727; Figs. 1, 2).

採集者は蛾の研究者である吉松慎一博士(農環研)である。本人の話では、採った時の状況は憶えていないとのことであったが、灯火採集の可能性が高いと思われる。上翅の紋も黄色で、新鮮な個体であることがうかがえる。シロスジカミキリのような大型種が沖縄島から記録されていなかったことを考えると、これは偶産である可能性が高い。本部港は奄美大島・徳之島経由のフェリーの寄港地であるので、この方面からの侵入個体ではないかと考えられる。奄美大島では5、6月によく



Figs. 1, 2. A male specimen of *Batocera lineolata* collected from Motobu, Okinawajima Is., the Ryukyus, Japan. 1, Dorsal habitus. 2, Lateral habitus.

採集され、徳之島の発生はそれよりも若干早くて4月下旬から5月ということなので(大坪, 2008),

徳之島から侵入した可能性が最も高いと思われる。本部付近での定着について確認が必要であるが、沖縄島に生息するオオシマゴマダラカミキリがオキナワジイを食害する場合、その産卵痕がシロスジカミキリのもとそっくりだという問題がある。したがって、定着の確認には4-5月の灯火採集が最善であろう。

引用文献

大林延夫・新里達也編, 2007. 日本産カミキリムシ. 東海大出版会, 秦野市, 818 pp.
大坪博文, 2008. 徳之島のカミキリムシ 102 種. 月刊むし, (453): 16-27.

(榎原 寛 298-0002 いすみ市日在 2033-5)
(吉武 啓 305-8604 つくば市観音台 3-1-3
(独) 農業環境技術研究所)

【短報】伊豆諸島御蔵島からのイチハシホソカタムシの記録

イチハシホソカタムシ *Antibothrus ichihashii* Narukawa, 2002 は三重県の度会郡紀勢町(現大紀町) 錦をタイプ地とするムキヒゲホソカタムシ科の珍種である (Narukawa, 2002; 生川, 2003). ほかに奈良県から生息情報があるにすぎなかったが(青木, 2012), 最近になって, 八重山諸島の西表島, 石垣島, 九州にも分布することが判明している(青木, 2013; 今坂, 2014).

筆者は本種を伊豆諸島御蔵島で確認しているのを報告する。

1ex., 東京都御蔵島村里, 18. VI. 2013, 筆者採集・保管。

採集環境は, 若齢木からなる照葉樹林におおわれた小尾根筋の林床で, 見下ろす谷部はスダジイの大径木を交えた自然林である。日中に, 直径 10 cm ほどの細い広葉樹(樹種不明)のやや古い倒木



図1. イチハシホソカタムシとその確認環境. A, イチハシホソカタムシ(御蔵島産), スケールは0.5 mm; B, 本種が確認された倒木。

上を歩行していた。

なお本種が得られた調査は, 科研費(24510333; 研究代表者: 小島弘昭)の助成を受けている。

末筆ながら, 問い合わせに応じてくださった青木淳一博士をはじめ, 川田一之(川崎市), 生川展行(鈴鹿市), 田中勇(西宮市)の各氏に心からお礼申し上げる。

引用文献

青木淳一, 2012. 日本産ホソカタムシ類図説. 92pp, 昆虫文献六本脚.
青木淳一, 2013. ホソカタムシの誘惑[第2版]. 211pp. 東海大学出版会.
今坂正一, 2014. 九州初記録のイチハシホソカタムシ. 月刊むし, (516): 42-43.
Narukawa, N., 2002. A new species of the genus *Antibothrus* (Coleoptera; Bothrideridae) from Japan. The Entomological review of Japan, 57(2): 123-126.
生川展行, 2003. イチハシホソカタムシについて. ひらくら, 47(2): 27-29.

(亀澤 洋 350-0825 川崎市月吉町 32-17)

昆虫学研究器具は「志賀昆虫」へ

日本ではじめて出来たステンレス製有頭昆虫針 00, 0, 1, 2, 3, 4, 5, 6号, 有頭ダブル針も出来ました。その他, 採集, 製作器具一切豊富に取り揃えております。

〒 142-0051

東京都品川区平塚2丁目5番8号

郵便振替 00130-4-21129

電話 (03) 5858-6401 (ムシは一番)

FAX (03) 3784-6464

(カタログ贈呈) (株) 志賀昆虫普及社

◇学会の発行物・バックナンバーの販売委託先◇

昆虫文献 六本脚

〒 102-0075 東京都千代田区三番町 24-3

三番町 MY ビル 3 階

TEL: 03-6825-1164

FAX: 03-5213-1600

E-mail: roppon-ashi@kawamo.co.jp

URL: <http://kawamo.co.jp/roppon-ashi/>